



北海道大学大学院理学研究科・理学部

広 報

第 12 号
2000年(平成12年)7月

目 次

第93回国立10大学理学部長会議開催される2	名誉教授称号授与6
毛利衛さんが理学研究科を訪問2	学位授与6
研究活動だより(15)3	新任教官紹介6
平成13年度大学院理学研究科学生募集について ...4	訃報6
平成13年度理学部物理学科及び地球科学科 (地球惑星物質科学分野)第3年次編入学生募集について...4	人事異動7
海外からの来訪者5	行事予定7
学会賞等の受賞6	各種委員会委員8



2号館玄関

第93回国立10大学理学部長会議 開催される

第93回国立10大学理学部長会議が5月18、19日の両日、広島大学の当番によりメルパルク広島で開催されました。

はじめに、出席された文部省高等教育局の林大学課長補佐より平成12年度の国立大学の整備充実のための予算額の主要事項、特に大学院関係に関して資料に基づき説明がありました。

次いで、議題の最初に、昨年11月10日に発表した「国立大学理学部長会議声明」並びに声明発表後の活動について報告がありました。この件は6月2日開催の本研究科・学部意見交換会で報告しました。

さらに、議題として、国立大学の独立行政法人化について、情勢と対応、「研究協力員制度」について、化学系実験室の老朽化、狭隘化から生じる諸問題と、その改善方策について、全学理科教育と流用定員問題について、英語による専門教育の必要性などが協議されました。いずれも情報と意見の交換で、他大学の現状は参考になる点がありました。今回は決議した事項はありませんでした。

秋に10大学および32大学による国立大学理学部長会議が東京であります。

毛利衛さんが理学研究科を訪問

4月17日に本学部化学科出身（昭和45年卒、昭和47年修士課程修了）の毛利衛さん（宇宙開発事業団有人宇宙活動推進室長）がスペースシャトルエンデバーでの2度目の宇宙飛行を終えて、帰還報告の為に本学を訪問されました。

毛利さんは、総長室での懇談の後、本学での日本人として最初の名誉博士号を体育館で授与されました。その後、新生を中心とする約2000人の学生を前に講演をされました。今回の飛行は何度も延期の後ようやく実現したのですが、本年2月12日（土）午前2時44分（日本時間）から2月23日（水）午前8時23分（日本時間）までの11日5時間39分の飛行で、シャトルに搭載した合成開口レーダを用いて、地表面陸域の約80%の3次元地形図データを取得するという成果をあげています。この主務に加えて、毛利さんは日本の高精細度テレビ（HDTV）カメラを持ち込み、日本、米国、カナダ、ヨーロッパ、モスクワ近傍などの地球観測、液滴挙動等の撮影を実施し、

宇宙でのHDTV利用の有効性を確認しています。今回の講演はこのビデオ映像を映写しながら行われ、宇宙活動をわかりやすく解説すると共に、地球の美しさ、環境の大事さを示されました。さらに質疑の中では自分自身でものを考えることの重要性を強調され、学生に強い感銘を与えました。

毛利さんは職員として勤務された工学部を訪問された後、理学部に来られました。新2号館の玄関ホールに沢山の学生、職員が集まり、簡単な歓迎会が行われました。徳永研究科長の代理として、佐々木評議員が歓迎の言葉を述べられたのに続いて、毛利さんが挨拶されました。ここでも学生との対話を交えながら学生を魅了する話をされました。特に『現在はやっているような分野に進んではダメだ。将来をみずえて自分の進路を考えるべきだ』との言葉は全くその通りだと思いました。

全部で20分という非常に限られた時間の中でしたが、毛利さん自身も実験をした化学科の学生実験室と、出身研究室である化学科物理化学研究室を訪ね、学生や職員と親しく話をする機会を持たれました。廊下、階段など人であふれており、相変わらずの人気振りでした。毛利さんも気軽に握手に応じており、母校を訪ねてリラックスされていたようです。本館玄関からあわただしく次の予定にむけ出発されましたが、是非もっとゆっくり理学部を訪ねてもらう機会を持ちたいものだと思います。

なお、毛利さんの飛行についての詳細は写真やビデオも含めて宇宙開発事業団のホームページ（<http://jem.tksc.nasda.go.jp/shuttle/sts99/index.html>）に詳しく述べられているので、興味のある方はアクセスしてみてください。（化学専攻 魚崎浩平）



玄関ホールでの歓迎会の様子

研究活動だより (15)

官職・氏名 助手・信定克幸
専攻等名 化学専攻
学会等名 DYNAM2000 (Reactive and non reactive quantum dynamics)
開催期間 平成12年5月31日～6月3日
開催地 フランス・アルカション
開催場所 Palais des Congrès of Arcachon
発表テーマ名 Quantum dynamics of ion dissociation of H_2O^{2+} and H_2O^+

研究発表の概要

岩崎ファンドの海外研究助成を受け、フランスポルドーの近郊アルカションで行われましたDYNAM 2000に参加し研究成果の発表を行ってきました。

この国際会議は、3、4個程度の原子から構成される分子の気相中での衝突過程(別の言葉で言えば化学反応)の理論的解明を主たる目的として開催されました。専門外の方や比較的研究領域が近い方からも、未だに数個程度のもかも気相中での化学反応系を研究しているのかと問われるのですが、実はわずか3個の原子が関与する反応素過程さえ、その理論的厳密な取扱いは容易ではありません。もちろん世の中の現象は、極めて多数の原子から構成される分子の凝縮相での反応素過程に関連づけられることの方が圧倒的に多いです。しかしながら、私が属している原子分子物理学(又は化学)の分野では、比較的少数の原子・分子系の詳細な機構解明を基礎にして、複雑な現象を捕らえていくべきとの共通の研究目的があるように思えます。まさにその目的を達成すべくこの会議が開催されたと私は認識しております。実際、会議においても、3、4原子系の反応素過程解明のための理論的方法論の発表や、そのような少数系の反応素過程に見られる興味深い現象の詳細な解析結果の発表が大部分を占めました。私は、高励起状態にある水分子イオンのイオン性解離の動力的機構解明についてポスター発表させて頂きました。高励起状態にある分子の動力学機構を理論的に取扱うことは難しく、その研

究例は決して多くありません。今回は、高励起状態で起こる特有の(つまり、基底状態にある分子ではエネルギー的に起こり得ない)動力学過程が多数見られることを聴衆に分かってもらったのではないかと考えております。具体的には、高励起状態にある分子の電子状態に強く依存して、解離フラグメントの種類が異なることや、原子同士の新しい結合の結果、新しい分子種が生成することを発表しました。但し、私も含め全ての会議出席者は、わずか3、4個の原子から成る分子の素過程だけで世の中の現象を全て理解しようとは思っておらず、既存の理論的方法論を如何にして、多原子系の化学反応に適用すべきなのかを模索中です。事実、多原子系への適用例の研究報告も少なからず見られました。

また、会議を通して知り合いになった参加者と発表内容に限らず、色々と研究上の話が十分に出来たことは収穫でした。私の研究興味と合致する部分が多数見受けられた研究者とは、今後共同で研究を進める可能性まで議論することができ、非常に大きな収穫を得た国際会議となりました。

今回は開催地がスペインやイタリアからも比較的近いと言う地理条件があったのですが、フランス・イタリア・スペインから参加した研究者が国境を越えて共同研究を精力的に進めている事が目につきました。若干、地理的、言語的不利な条件はありますが、閉鎖的な部分を否定できない日本の研究土壤はもっと積極的に改善すべきなのではないかと反省した次第です。その意味においても、今回知り合った研究者と本質的な共同研究ができるようにすべきだと思っております。

最後になりましたが、海外研究助成をしていただきました、株式会社「岩崎」関係者の皆様にお礼を申し上げます。

(この発表は、株式会社岩崎からの研究助成による)

平成13年度大学院理学研究科 学生募集について

本研究科では、平成13年度修士（博士前期）課程及び博士後期課程学生募集を下記のとおり行うことになりました。

出願を希望する学生は、教務掛において募集要項等を受け取り、所定の期日までに手続きをしてください。

記

修士（博士前期）課程

数学専攻	46名
物理学専攻	39名
化学専攻	48名
生物科学専攻	44名
地球惑星科学専攻	38名
計	215名

博士後期課程

数学専攻	22名
物理学専攻	19名
化学専攻	23名
生物科学専攻	21名
地球惑星科学専攻	18名
計	103名

願書受付期間

平成12年7月21日（金）～7月28日（金）まで

入学試験日

化学専攻

平成12年8月17日（木）～8月18日（金）

化学以外の専攻

平成12年9月4日（月）～9月6日（水）

平成13年度理学部物理学科及び地球科学科 地球惑星物質科学分野 第3年次編入学 学生募集について

本学部では、平成13年度物理学科及び地球科学科（地球惑星物質科学分野）第3年次編入学学生募集を下記のとおり行うことになりました。

なお、募集要項等の詳細については、教務掛にお問い合わせください。

記

募集人員 若干名

願書受付期間

平成12年7月21日（金）～7月28日（金）

入学試験日

平成12年8月25日（金）

海外からの来訪者

期間：平成12年4月1日～6月30日

年 月 日 (期 間)	来 訪 者 (国名・所属・職名・氏名)	目 的
(受入れ専攻等名：数学専攻)		
5.15～5.20	カナダ・トロント大学・教授・Pierre Milman	偏微分方程式と微分幾何の特異点論的研究に関する研究打ち合わせ
6.6～6.11	オーストラリア・慶應義塾大学・日本学術振興会外国人特別研究員・Harris Adam	講演「 L^p curvature and cauchy-riemann equation near a singular point」
6.27～6.29	フランス・カーン大学・講師・鎌田政人	講演「楕円曲線のQuadratic twistとKummer曲線上の有理曲線」
(受入れ専攻等名：物理学専攻)		
5.11～7.9	ロシア・ロシア科学アカデミーウラル研究所・研究員・A. Guerachtchenko	核磁気共鳴による酸化磁性体のスピン相関の研究
(受入れ専攻等名：化学専攻)		
5.26～5.29	アメリカ・ユタ大学・教授・Joel S. Miller	講演「Molecules-based magnets - new materials for the new millennium」
6.5～6.8	フランス・国立中央科学研究所・第一種主任研究員・Patrick Cassoux	共役系配位子錯体の積層構造制御により構築される磁性導電体の研究に関する打ち合わせ
(受入れ専攻等名：生物科学専攻)		
4.15～4.18	インドネシア・インドネシア科学院生物学研究所・研究員・Sih Kahono	アジア熱帯産昆虫類の種分化に関する打ち合わせ
4.29～6.7	ドイツ・ゼンケンベルグ自然史博物館・研究員・Joachim Scholtz	コケムシと細菌類の共生に関する研究
4.29～5.7	ドイツ・ゼンケンベルグ自然史博物館・研究員・Jourgen Kaselowsky	〃
4.29～5.7	ドイツ・ゼンケンベルグ自然史博物館・研究員・Antje Lauer	〃
5.15～5.28	イギリス・MRCケンブリッジ分子生物学研究所・主任研究員・Robert R. Kay	細胞性粘菌の柄形成の分子機構に関する研究討論と講演
5.22～6.4	インドネシア・インドネシア科学院生物学研究所・研究員・Sri Hartini	アジア熱帯のダニ類の分類学的研究に関する打ち合わせ
6.14～6.24	ハンガリー・ブダペスト工科大学・教授・Miklos Zrinyi	高分子ゲルの磁気応答に関する研究打ち合わせ
(受入れ専攻等名：地球惑星科学専攻)		
5.30～6.2	オーストラリア・オーストラリア国立大学・研究員・Andrew J. Berry	表敬訪問及び有珠山2000年噴火活動視察
5.30～6.2	オーストラリア・オーストラリア国立大学・主任技官・Willam O. Hibberson	〃

学会賞等の受賞

化学専攻 魚崎浩平教授は、論文「Structure dependence of the surface pKa of mercaptoundecanoic acid SAM of gold」により、平成12年4月5日、電気化学会から電気化学会論文賞を受賞されました。

生物科学専攻 増田道夫教授は、論文「Chemical races in the red alga *Laurencia nipponica* (Rhodomelaceae, Ceramiales)」により、平成12年3月29日、日本藻類学会から第3回日本藻類学会論文賞を受賞されました。

名誉教授称号授与

元物理学専攻凝縮系物理学講座塩崎洋一教授

本年3月31日限り停年により退官された同教授に対し、4月1日付で本学名誉教授の称号が授与され、5月31日事務局において称号授与式が行われました。

元物理学専攻非線形物理学講座三本木孝教授

本年3月31日限り停年により退官された同教授に対し、4月1日付で本学名誉教授の称号が授与され、5月31日事務局において称号授与式が行われました。

元化学専攻物性解析化学講座中村義男教授

本年3月31日限り停年により退官された同教授に対し、4月1日付で本学名誉教授の称号が授与され、5月31日事務局において称号授与式が行われました。

学位授与

平成12年6月30日学位授与者(9名)

(課程博士)

永岡達司(物理学専攻)

Vortex dynamics in high- T_c cuprates. (主査: 熊谷健一教授)

中村亮介(物理学専攻)

Broad Raman scattering and luminescence in β -carotene solution. (主査: 中原純一郎教授)

瓜生匡秀(化学専攻)

ホタテガイ精巢カルシニューリンの研究 cDNA クローニングと機能解析. (主査: 矢澤道生教授)

河合英敏(化学専攻)

〔1.1〕パラシクロファン¹の速度論的安定化とその構造, 物性, 反応性の解析. (主査: 辻孝教授)

小林卓(生物科学専攻)

Behavioral and physiological study of modulatory mechanism for feeding response in the pond snail, *Lymnaea stagnalis*. (主査: 浦野明央教授)

高嶋聰(生物科学専攻)

Neurophysiological studies on the synaptic integration in an identified nonspiking interneuron of crayfish. (主査: 高畑雅一教授)

松田篤(生物科学専攻)

Structure and shape memory behaviors of hydrogel with order-disorder transition. (主査: 長田義仁教授)

木崎健治(地球惑星科学専攻)

Age of the formation and the metamorphic process of the Poroshiri ophiolite. (主査: 渡邊暉夫教授)

(論文博士)

常盤野哲生(化学専攻)

Biomimetic construction of fused polycyclic ethers. (主査: 村井章夫教授)

新任教官紹介

秦泉寺 雅夫 (数学専攻代数構造学講座講師)

(平成12年6月1日採用)



最終学歴: 平成8年3月東京大学大学院理学系研究科物理学専攻博士課程修了、学位: 博士(理学)、略歴: 平成9年4月日本学術振興会特別研究員、専門分野: 位相的弦理論の構造

訃報

名誉教授 朝日 孝氏(享年71歳)

名誉教授(元理学部物理学教授)朝日孝氏は、平成12年5月24日(水)午後9時、札幌中央病院にて逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

人事異動

平成12年4月17日付け発令
(採用)
附属地震火山研究観測センター技術補佐員
(研究支援推進員) 清野 政明

平成12年5月1日付け発令
(採用)
附属臨海実験所事務補佐員 小林 道子
附属臨海実験所臨時用務員 齋藤 祐子

(昇任)
物理学専攻凝縮系物理学講座助教授 網塚 浩
同講座講師から

平成12年5月15日付け発令
(採用)
附属地震火山研究観測センター(有珠火山臨時観測所)
事務補佐員 畠山 恵美子

平成12年5月16日付け発令
(転出)
化学専攻生命分子化学講座助手 加藤 剛志
旭川医科大学医学部助教授へ

平成12年6月1日付け発令
(採用)
数学専攻代数構造学講座講師 秦泉寺 雅夫

平成12年6月15日付け発令
(雇用契約)
附属地震火山研究観測センター(共通(客員)分野)外国人
人研究員(客員教授)
雇用期間は平成12年10月15日まで
RIPEPE Maurizio

平成12年6月30日付け発令
(辞職)
生物科学専攻生体情報分子学講座助手 日下部 岳広

行事予定

月	日	曜	事 項
7	4	火	学位申請(7月付託)締切
	7	金	専攻長・学科長会議 13:30
	14	金	入学試験委員会 10:30
	14	金	研究科教授会 13:30
	17	月	夏季休業(～9月7日)
	21	金	修士(博士前期)課程及び博士後期課程 願書受付(～28日)
8	4	金	第2学期授業時間割の提出締切
	7	月	全学教育部夏季休業(～18日)
	17	木	修士(博士前期)課程及び博士後期課程 入学試験(～18日)[化学専攻]
	18	金	9月学位授与予定者の審査報告関係書類 提出締切
	21	月	研究生・聴講生・科目等履修生願書受付 (～25日)
	21	月	全学教育部第1学期定期試験(～9月1日)
	22	火	学位申請(9月付託)締切
28	月	専攻長・学科長会議 13:30	
9	1	金	入学試験委員会 10:00
	1	金	研究科教授会 13:30
	1	金	学部教授会 15:30
	1	金	修士(博士前期)課程及び博士後期課程 入学試験合格発表 15:00[化学専攻]
	4	月	修士(博士前期)課程及び博士後期課程 入学試験(～6日)[化学以外の専攻]
	5	火	全学教育部第1学期定期試験成績提出締 切 12:00
	5	火	全学教育部第1学期追試験(～8日)
	14	木	入学試験委員会 10:00
	14	木	研究科教授会 13:30
	14	木	修士(博士前期)課程及び博士後期課程 入学試験合格発表 15:00[化学以外の 専攻]
26	火	学位申請(10月付託)締切	
29	金	学位記授与式	
29	金	専攻長・学科長会議 13:30	
10	2	月	第2学期授業開始
	2	月	第1学期専門科目成績提出締切
	2	月	全学教育部第2学期授業開始
	2	月	AO入試出願期間(～10日)
	6	金	研究科教授会 13:30
	6	金	修士(博士前期)及び博士後期課程二次 試験実施の有無締切
	11	水	学部学生(2年次以上)履修届受付 (～12日)
	19	木	国立10大学理学部長会議(東京)
	20	金	国立大学理学部長会議(東京)
	27	金	AO入試第一次選考の発表
31	火	学位申請(11月付託)締切	

平成12年度研究科・学部内各種委員会委員

専攻等名 委員会名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻		生物学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
			化学	化学	生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
専攻長・学科長会議	吉田知行	大川房義	喜多村 昇	辻 孝	小池達郎	田中 勲	小笠隆司	渡部重十	研究科長、両評議員	任期1年 13.3.31 上段は専攻長・学科長 下段は専攻委員・学科委員
点検評価委員会	吉田知行	大川房義	喜多村 昇	辻 孝	小池達郎	田中 勲	小笠隆司	渡部重十	研究科長、両評議員	専攻長・学科長及び専攻委員・学科委員が委員
将来計画委員会	津田一郎	石川健三	喜多村 昇	稲辺 保	高橋孝行	西村紳一郎	藤野清志	林 祥介	研究科長	任期なし
予算委員会	吉田知行	大川房義	喜多村 昇	辻 孝	小池達郎	田中 勲	渡邊暉夫	渡部重十	評議員（鈴木） 地震火山研究観測センター長及び 生物系の附属施設長から1名	任期1年 13.3.31
教務委員会	中村 郁	藤本正行	宮下正昭	武田 定	片倉晴雄	中田 允夫	宇井忠英	蓮田 清	全学教務委員会委員（山口）	任期1年 13.3.31
拡大教務委員会	中村 郁	藤本正行	宮下正昭	武田 定	片倉晴雄	中田 允夫	宇井忠英	蓮田 清	典原敏夫 木村正人 長谷川四郎	任期1年
学生委員会	石川剛郎	鈴木久男	今川敏明	内藤俊雄	高田泰弘	渡 信久	三浦裕行	上田 博	評議員（鈴木） 評議員（全学学生委員会委員（豊村））	任期1年 13.3.31
図書委員会	小野 薫	中山隆一	藤原憲秀	今村 平	清水 隆	養 剣 萍	川村信人	前田 丞	（全学図書館委員会委員（谷口））	任期1年 13.3.31
災害対策委員会	三上敏夫	小野寺 彰	八木一三	井川駿一	小亀一弘	金子達雄	三浦裕行	遊馬芳雄	評議員（佐々木）	任期1年 13.3.31
広報委員会	辻井正人	持田 潔	嘉屋俊二	鈴木孝紀	山下正兼	吉田 孝	川村信人	森谷武男	評議員（佐々木）	任期なし
情報ネットワーク委員会	松本健司	根本幸児	野呂武司		栃内 新	姚 関	藤原嘉樹	林 祥介	（全学学術情報委員会情報ネットワーク専門委員会委員（羽部））	任期なし
放射線障害予防安全委員会		小田 研	嘉屋俊二	嘉屋俊二	加藤敦之	高橋正行	三浦裕行		（全学安全・防災委員会放射線同位元素管理専門委員会委員（矢澤） 吉田郁也、西田義憲（運伝子））	任期なし
放射線取扱主任者補佐			今川敏明	代杉本和則	加藤敦之				阿部周一（染色体）	任期なし
放射線取扱主任者			嘉屋俊二	矢澤道生	高田泰弘					任期なし
工ククス線取扱主任者			稲辺 保							任期なし
国際規制物質計量管理責任者		熊谷健一							本村泰三（海藻研）	任期なし
技術部運営協議会		中原純一郎	井川駿一		長山俊樹	新井田清信			委員の互選 （技術部）小嶋山守男、三浦富夫、宮島信彦、桑島俊昭	任期1年 13.3.31
地震火山研究観測センター							小笠隆司 宇井忠英	渡部重十 西田泰典	島村英紀 笠原 稔、茂木 透 岡田 弘	任期1年 13.3.31
運営委員会										任期なし
創基125周年記念事業部局史編集委員会	勝股 脩	石垣壽郎 市川瑞彦	谷口和弥	矢澤道生	片倉晴雄	新田勝利	在田一則	播磨屋敏生		任期なし
有害廃液管理責任者			喜多村 昇						補助者 会計掛長	任期なし
端末責任者	村守隆男	山本夕可	野呂武司		栃内 新	姚 関	坂本竜彦			任期なし

ク	ラ	ス	担	任	数	理	系	(15組)	物理系(16組)	物理系(17組)	化学系(18組)	化学系(19組)	生物系(20組)	そ	の	他	備	考								
ク	ラ	ス	担	任	中	路	貴	彦	浦上晃一	加藤幾芳	佐々木陽一	日夏幸雄	落合 廣	クラ	ス	担	任	の	理	学	部	代	表	教	官	
ク	ラ	ス	副	担	田	口	雄	一	藤原嘉樹	坂入信夫	坂入信夫	小池達郎														

平成12年度全学各種委員会委員名簿

委員長 研究科での選考必要なし

平成12年7月現在

委員会名	専攻等名	数学専攻	物理学専攻	化学専攻		生物科学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
				化学	化学二	生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
評議委員会					佐々木陽一	鈴木範男				研究科長	任期2年 13.5.31
教務委員会		山口佳三				鈴木範男				学部長	任期2年 13.3.31
点検評価委員会					佐々木陽一	鈴木範男				研究科長	官職指定
点検評価委員会幹事会										研究科長	官職指定
広報委員会					佐々木陽一						評議員 任期 12.9.30 12.9.30までは理学部から選出
学生委員会				喜多村							任期2年 13.3.31(次回:生物)
国際交流委員会		三宅敏恒									任期2年 13.3.31
留学生センター留學生指導専門委員会			大西 明								任期なし(留學生担当教官)
保健管理センター運営委員会		菅野孝三									任期2年 13.3.31
入学者選抜委員会										学部長	官職指定
入学者選抜制度調査委員会		「数学前田芳孝 (代理)井上純治	石川 健三	「代理宮下正昭		(理科)米田好文		「代理小川順二		学部長	任期2年 14.3.31 (理学部選出の代理 次回:)
大入試センター試験・第二次入試試験実施委員会総務部会				谷野 圭持							任期2年 14.3.31
北海道大学A〇入試委員会							岡田 尚武				任期2年 14.3.31
高等教育機能開発総合センター予算・施設委員会							渡邊 暉夫				任期2年 13.3.31
高等教育機能開発総合センター安全管理委員会						落合 廣					任期2年 13.3.31
高等教育機能開発総合センター全学教育委員会						山下 正兼					任期2年 13.3.31
高等教育機能開発総合センター高等教育開発総合センター高等教育開発研究委員会								蓮田 清			任期2年 13.3.31
高等教育機能開発総合センター生涯学習計画研究委員会											任期2年 13.3.31
施設・環境委員会						鈴木 範男		渡邊 暉夫			評議員 任期 13.3.31 13.3.31までは理学部から選出
施設・環境委員会施設計画専門委員会		林 実樹									任期2年 14.6.30
施設有効活用推進部会											任期なし
創基125周年記念事業実行委員会出版等専門委員会			石垣 壽郎								任期2年 13.5.3(次回:)
留學生教育専門委員会					辻 孝		出村 誠				任期2年 13.3.31
環境保全センター運営委員会											任期2年 13.3.3(次回:地惑)
図書館委員会				谷口 和彌							任期2年 13.3.31
学術情報委員会		津田 一郎									任期2年 13.3.31
学術情報委員会情報ネットワークシステム専門委員会			加藤 幾芳							見延庄士郎	任期2年 13.3.31
学術情報委員会										浦上 晃一	任期2年 13.3.31
スペース・コラボレーション・システム事業専門委員会											官職指定
安全・防災委員会										学部長	任期2年 13.3.31
安全・防災委員会安全対策専門委員会				辻 孝						学部長	任期2年 13.3.31

専攻等名 委員会名	専攻	物理学専攻	化学専攻		生物学専攻		地球惑星科学専攻		その他	備考
			化学	化学二	生物学	高分子機能学	地球惑星物質科学	地球物理学		
実験生物センター運営委員会					増田道夫 栃内新				(株)松田洋一 任期2年 13.5.21 (生物)片倉晴雄：センター長	
実験生物センターげっ歯類専門委員会					高橋孝行				(株)松田洋一 (株)阿部周一 任期2年 13.3.31	
遺伝子実験施設運営委員会					米田好文 浦野明央				(株)松田洋一 ～13.3.31 (遺)瀧谷重治 任期2年 13.4.30	
低温科学研究所運営協議会		永正晴							任期2年 14.3.31	
低温科学研究所共同利用委員会						上田 博			任期2年 12.9.30	
触媒化学研究センター協議員会			村井章夫	山岸皓彦					任期2年 13.3.31	
触媒化学研究センター点検評価委員会				佐々木陽一					任期2年 13.3.31	
触媒化学研究センター運営委員会				佐々木陽一					任期2年 13.3.31	
量子界面エレクトロニクス研究センター運営委員会			魚崎浩平						任期2年 13.3.31	
エネルギー先端工学研究センター運営委員会		熊谷 健一							任期2年 14.3.31	
エネルギー先端工学研究センター						藤野清志			任期2年 13.3.31	
超高压電子顕微鏡研究室専門委員会					米田好文				任期2年 14.3.31	
先端科学技術共同研究センター運営委員会									任期2年 14.3.31	
知識メディア・ラボラトリ(VBL)運営委員会		加藤幾芳							評議員又は経験者 任期2年 13.3.31	
情報メディア教育研究総合センター運営委員会	上見練太郎								任期2年 13.3.31	
情報メディア教育研究総合センター教育利用専門委員会	松本健司								任期2年 13.3.31	
情報公開に関するW・G				佐々木陽一					評議員 11.6.1～ 学生委員会委員 任期 学生委員の任期 13.3.31	
北海道地区国立大学大滝セミナーハウス運営委員会			喜多村						任期 学生委員の任期 13.3.31	
住宅委員会								人事掛長	任期1年 13.3.31	

編集後記

理学部広報第12号をお届けします。

今号の表紙には2号館、5号館の玄関の写真を掲げました。この玄関は、後方左手に見える2号館とともに、1994年（平成6年）に完成しました。どこかで見たことがあるような感じがしないでしょうか。本館の玄関の特徴：3つのアーチの配置、アーチの形、壁面の色調、を引き継いでいるためと思われます。玄関正面にたつと、ドアが自動的に開きます。これは、本館玄関の重いドアを開けないと入れないのとは、大きな違いです。創立以来50数年間の社会と理学部の関係の変化を表しているかのようです。

玄関からロビーにはいると、色鮮やかなステンドグラスが目飛び込んできます。図柄はこれまたどこかで見たことがあるように感じられます。本館アインシュタインドームの4つのレリーフが素材として用いられているからでしょう。

このように本館の特徴が継承されているのは、設計者の理学研究科に対する期待が込められているからなのです。ここに、これらの建物の設計趣旨の関係部分を掲載しておきましょう。「今回の建物が将来の理学部の正面玄関となるため、...外観は本館と同色系統のタイルで統一をとり、玄関・窓部分等もアーチ状の壁を取り入れている。一階ホールは、快適で潤いのある豊かな空間造りを目指し特大のステンドグラスを設けた。デザインは創設当時の理学部全員の心意気と努力、さらに理想の意を込め造られた本館中央ホールのドーム壁面を飾っている「果物」・「向日葵」・「蝙蝠」・「梟」のレリーフを図案化したものである。この4つのレリーフは、それぞれは朝、昼、夕、夜を意味し、研究には一日中、昼も夜もないことを暗示している。」私たちはこの玄関を通るたびに、込められた期待に思いをいたしたいと思います。資料は教務掛、営繕掛の方々にお世話になりました。

（持田潔（物理学専攻）記）

北海道大学大学院理学研究科・理学部広報
第12号 2000年（平成12年）7月16日発行
北海道大学大学院理学研究科・理学部広報委員会
印刷・製本 興国印刷株式会社